



西念寺だより

水無月号

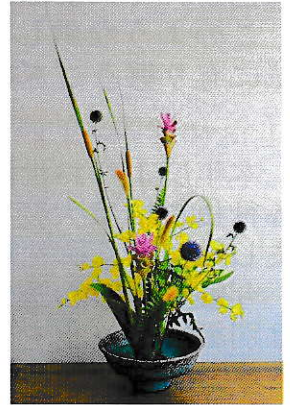
令和2年6月1日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

自分のなすべきことを知り、常に専念する - 今この時を大切に -

今年も早6月となり、一年の半分近くが過ぎ去ろうとしています。昨年末に中国武漢市で原因不明のウイルス性肺炎として最初の症例が確認されて以降、今年に入りあつという間に世界規模で流行する事態となっていました。その為、気が付けばいつの間にか春のお彼岸や新緑の季節も過ぎ去り、今月には梅雨入りする時季となっていました。緊急事態宣言は解除となりましたが、殆どの方がマスク着用で外出されているなど、未だに安心できる状況とは程遠い今日この頃です。壇信徒各位にはお健やかに過ごしてはいかがでしょうか。



さて、古代よりしばしば疫病（感染症）が日本を襲ったことはよく知られています。一番多かったのが天然痘、続いて高熱と全身に発疹が広がる麻疹だったといわれています。ウイルスや細菌の存在など知る由も無い時代に、人々はそれをどう受け止めて対処したのだろうか。どうして次々に人が倒れ、病気があつという間に広がるのかパニックになったことは想像に難くありません。治療法もなかった時代、人々はひたすら治まることを願って祈っていたに違いありません。

室町時代に始まった節分の豆まきの「鬼は外」も、目に見えない恐ろしい感染症を追い出すことを表現しており、赤鬼は高熱のために赤くなった病人の顔を意味するという説もあります。また、各地で夏の夜を彩る花火大会も大飢饉や流行した疫病による死者の供養と災厄除去を祈願して始まったと言われています。

今日の社会は人も物も国境を越えて世界的な規模で移動し、地球全体に及びます。また、日本だけを見ても人々は東京をはじめ大都市部に集中する傾向がますます強くなっています。これは便利な反面、一旦今回のような状況に置かれると爆発的な感染が広がることは容易に想像できます。

科学者で随筆家でもある寺田寅彦の言葉とされる「天災は忘れた頃にやってくる」は、文明が進むほど天災による被害の程度も累進する傾向があるという事実を十分に自覚し、平生からそれに対する防禦策を講じることの大切さを改めて教えてください。

浄土三部経の一つ、仏説観無量寿経の中に次のような一説があります。

「佛心者大慈悲是、以無縁慈、攝諸衆生」

— 仏心とは大慈悲これなり、無縁の慈をもって諸々の衆生を摂す —



自宅待機を余儀なくされる中、医療関係者をはじめ、多くの職種の方が感染のリスクを負いながらも、他者のために過酷な現場で働かれている姿は強い使命感とともに、皆様の心に宿る慈悲の心、即ち前述の大慈悲そのものであると思います。

私たちもなかなか辛いことではありますが、感染拡大防止の為には場に応じた自粛が必要です。ともすれば人間は短絡的になり、目先の“小楽”のために将来の“大楽”を台無しにしがちですが、ここは辛抱のしどころ。「今は辛くても善なる行為（自粛生活）が因となり、必ず将来、楽なる結果がもたらされる」という仏教の因果論（善因楽果）を信じ、終息までまだまだ長い道程になりそうですが、ブッダの言葉「自分のなすべきことを知って、その事に常に専念すべきである」（『法句経』）を肝に銘じて、今回の難局を共に乗り越えていきましょう。

裏面に続く

【春のお彼岸について】

今年の春のお彼岸会はこれまで例のない、全く参拝者のおられない状況で執り行わせていただきました。17日の彼岸の入りから23日の結願まで、毎日皆様方から頂きました御回向を厳修させていただきました。

一方、寺墓は多くの方々にお参りいただき、色鮮やかなお生花をお供えいただき、ここだけはお彼岸らしい雰囲気にも包まれていました。

このような厳しい状況の中にも関わらず、多くの方々から御回向の御寄進をいただき誠に有り難うございました。厚く御礼申し上げます。詳しくは別紙をご覧ください。



【令和2年度西念寺役員のお知らせ】

本年度よりお世話になります西念寺の各役員の方々の紹介をさせていただきます。各役員様には大変御多用の中、寺門運営の発展と向上のために快くお引き受けいただきました。厚く御礼申し上げます。

今後各行事の運営等でお世話になりますが、何卒宜しくお願い申し上げます。詳しくは別紙プリントをご覧ください。なお、内容につきましては電話帳等で公開されている内容ですが、取り扱いは御注意くださいますようお願い申し上げます。

【写経 祝聖文のお誘い】

コロナウイルスの蔓延で何かと重苦しい空気が漂う今日この頃です。そこで、今回人々の幸福を願うお経「祝聖文」を紹介させていただきます。

天下和順 日月清明 風雨以時 災厲不起
国豊民安 兵戈無用 崇徳興仁 務修礼讓

このお経は、お釈迦さまが説かれた教えを広め、それを人々が実践することで安穏な日々を過ごせ平和な世の中が訪れるという意味があります。

先の見えない不安な状況の中、穏やかな日々が一日も早く訪れることを願い、お念仏の実践に対する思いを新たに、御自宅で写経いただければと思います。

なお、写経いただいた用紙を6月末までにお寺にお届け頂きましたら、大本山増上寺に依頼して御回向の上、納経いただきます。

お経の意味等、詳しくは別紙プリントをご覧ください。



【当面の行事等について】

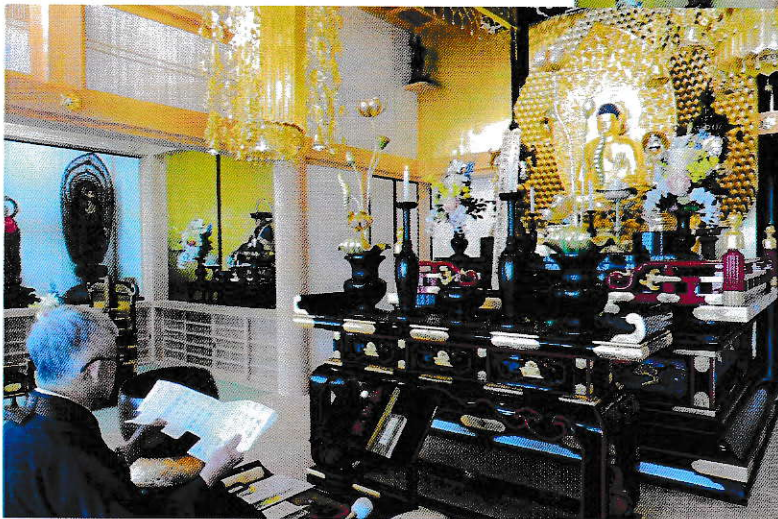
緊急事態宣言もようやく解除され、徐々に普段の生活に戻りつつありますが、一方で新たな感染拡大も報道され、中々気の許せない日々が続いております。そこで、当山の諸行事等につきまして現時点での概要をお知らせいたします。

- ・ **本堂の使用について**—ご法事、その他で本堂を御使用の場合、エアコンを使わず網戸の付いております建具を開放して換気に努め、参拝者には本堂正面階段付近で手指のアルコール消毒をお願いいたします。また、堂内ではマスクの着用をお願いします。
- ・ **佛教婦人会写経会**—これ以上の感染拡大がなければ7月4日(土)より再開予定です。
- ・ **お盆各行事**—例年どおりの実施を予定しておりますが、状況により変更させて頂く場合もあります。その際は随時プリント等にてお知らせいたします。
- ・ **前期齋米(寺院経費)について**—従来評議員様をお願いして集めて頂いております地域はこれまでどおりの形でお願いします。評議員様に御無理お願いしてお回り頂きますので、御協力の程宜しくお願い申し上げます。
遠方等で郵送でお送りしております方は、御面倒ですが郵便振替払込書でお振り込みいただくか、お寺にお越しいただいた折にお納めいただくようお願い申し上げます。
- ・ **生け花教室**—7月第2週より再開の予定です。感染の状況により変更の場合は該当者に直接連絡させていただきます。

以上宜しくお願い申し上げます。御不明の点は直接お寺に御連絡をお願いします。

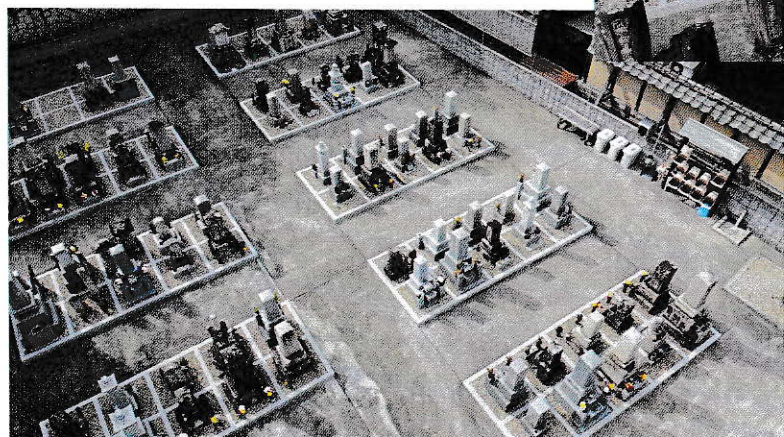
春彼岸の様子から

彼岸の入りから結願まで参拝者のお見えにならない状況で勤めさせていただきました。



皆様方からいただいた御回向をお彼岸中、毎日厳修させていただきました。

寺墓は、お彼岸の期間中、沢山の方にお参りいただきました。



色鮮やかなお生花がお供えされここだけはお彼岸らしさを感じさせてくれました。

当山の境内に一本だけある桜の木は、早咲きでほぼ満開を迎えていましたが、今年は参拝者がなく、静かで寂しさを感じられました。

秋のお彼岸は賑やかに迎えたいものです。



【令和2年春彼岸会回向寄進者について】

3月18日から24日まで春の彼岸会を厳修いたしました。新型コロナウイルスの感染防止のため、住職と副住職のみで法要を執り行わせていただきました。

彼岸の入り、中日法要と結願法要で施主様毎に回向させていただきました。このような状況の中にもかかわらず、わざわざ御回向賜りました皆様方、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

春彼岸会回向寄進者

(敬称略 順不同)

奥 治彦	澤田 康夫	石田 隆文	石田 久子	小林 喜春
小林喜代司	橋本 善之	北川 清隆	橋本 均	北川 康夫
香村 武市	古庄 徹郎	山村 雅信	田邊 浩行	北川 宏
竹村伊久美	北川 仁朗	尾川原政子	木口 和美	下村 新一
上田 俊江	三嶋 一嘉	西川 泰夫	吉田 勳	池邊 俊夫
香村 侃彦	北川 育子	川添 彌	橋本 絢子	北川 雄介
橋本 種継	橋本 裕嗣	北川 司郎	安田 智	北川 雅敏
香村 和雄	荻田 泰廣	竹村 情次	西川 久和	中野 儀博
吉山 保	竹村 春彦	森田 和亨	大崎 三郎	西川 久子
小林千亜紀	下村 幸夫	竹村 康孝	北川晴通子	西川 欣宏
安岡 隆司	北川 重夫	北川知津子	西川 浩	西川 勳
下村 喜朗	西川 俊一	西川 明裕	北川 晴雄	北川 雅彦
鈴木 肇	小野 哲也	勝島 達男	小西 俊明	西川 善隆
西川 君子	安岡 正夫	澤田 成雄	山岡 翔大	七間 清和
安岡 賢治	安岡 俊爾	吉山三子生	西川 秀司	西川 リエ
未田 新三	北川 功	北川 和子	尾川原トシエ	竹村 武志
竹村 清彦	安田 稔	竹村 早苗	小坂 隆利	西川 實
斉藤 久子	北川 欽造	大崎 勳	中野 正明	竹村 行雄
安岡 憲二	竹村 良治	上村 絹代	上村 勉	北川 康孝
山岡 実	野井 慶一	木口 明義	香村 稔	北川 正
江守幸市郎	塩見 真理	西川 明治	田中 孝明	香村 毅
北川 新吾	木口 肇	森西千恵子	木口 佳孝	北川 昌昭
荒木 忍	中西 廣康	木口 晃久	竹村 啓司	太田 幸和
小西 正明	田中 博視	木口喜代次	國田 清	太田 晶子
太田 敏之	太田 初子	北尾 芳一	田邊 邦彦	橋本 幸昭
鈴木 俊寛	山崎 喜隆	北川 恒代	村上 弘子	北川 政弘
国田 陽子	竹村 光代	村田 安隆	田口 修	北尾 道代
菱田 嘉明	村中 敬	北川 利夫	荻田 冨子	井村 博志
植村 恵子	橋本 恵子	豊田三枝子	村田 弘子	橋本 進
船島 潔	奥田 道男	藤田 進二	中村ふたみ	橋本 範子
藤田 博子	加藤 寛治	長田成三郎	橋本 忠典	藤村 嘉孝
桐山 登	山岡 義雄	松本 茂	森田 俊次	森田 昌是
森田 吉持	安藤 文子	垣内 英男	園田球磨彦	西川 和宏
匿名希望者 1 名	佛教婦人会			

[裏面に彼岸法要の写真を掲載しています](#)